

磐田市相撲連盟

加盟人数 20人

代表者 会長 高橋 一良

創立年 昭和31年

【目的】

相撲という国技を通じ、日本の伝統と礼節を守り、青少年の健全な心身を育み、ふるさと・磐田の発展に寄与しよう。

【主な年間行事】

- ・元旦祭、土俵清め式
- ・磐田すもうクラブの各種行事
 - 卒業式
 - 優秀選手表彰式
 - ちゃんこお楽しみ会
- ・各種対外相撲大会への参加
 - 全国小中学生木曾福島大会
 - 静岡県小学生すもう大会
 - 会長杯中学生相撲選手権大会
 - 国民体育大会県選考会(相撲の部)
 - 静岡県相撲選手権大会
 - 中体連大会、東海大会相撲競技
 - 全国都道府県中学生相撲選手権
 - しずおかスポーツフェスティバル他
- ・若宮八幡宮奉納相撲の取り仕切り
- ・ジュピロ磐田杯争奪市民相撲大会
 - わんぱく相撲磐田場所を一般社団法人磐田青年会議所と合同開催（市民大会は第42回、わんぱくは第32回）
 - わんぱく相撲は県大会、全国大会あり
- ・すもう教室の開催
- ・通常稽古は週3回、水木土曜日は夜7時から、磐田市営相撲場にて実施。（国府台上野公園内）

【近年と現在の活動状況】

ここ数年は、わんぱく相撲は県大会の壁が破れず、東京国技館に行けていない。しかし、稽古は、ベテラン内野時彦、若手中村拓也、中村大輔コーチのもと、熱心に行われている。女子の参加も増え、お母さん方の応援もあり、土俵回りも賑やか。体協の60年史に記載した平成21年以降では、磐田第一中学校から県高校相撲の名門飛龍高校に、中村拓也、大輔兄弟そして城山中学校から八木裕真が進学し、激しく厳しい稽古に動しんだ。



八木裕真君西島杯優勝

八木裕真は、現在平成30年同校2年生。小中学校時代の活躍は以下の通り。小5年わんぱく相撲全国大会出場。同6年ベスト16、中1、2、3年と全国中体連大会に出場し、城山中学校と磐田の名前を高めた。3年で個人ベスト32が最高成績だった。

なお、神明中出身で磐田すもうクラブの一員だった江塚薫は、平成28年5月大相撲の初土俵を四股名「江塚」で飾り、小さな頃からの夢だった各界入りを果たした。ハンディキャップに負けないで、関取をめざす。



現在序二段江塚薫関の雄姿